

平成30年度

平成30年 10月30日 11月号 (第514号)

学校だより

11月 



横浜市立すすき野小学校

TEL045 (901) 6232 FAX 045 (904) 4693

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/susukino/index.cfm>

おこやかスマイル おすんで考え行動し きょうかし合う すすきっ子

「聞く力をつけると子どもが伸びる！」

校長 三橋 国雄

関東では紅葉の便りが届き、このところ朝晩の冷え込みに慌てて長袖を準備されているご家庭も多いことと思います。

10月26日(金)には、本校の特色の一つでもあります、縦割りの仲良し班で行う全校遠足を実施しました。当日は遠足に出かけるには丁度良い天気で、グループごとに王禅寺ふるさと公園まで、徒歩で向かいました。6年生のリーダーは、下学年のグループの仲間が安全に歩けるように、歩く速さに気をつけたり、自分たちが車道側を歩くなどしっかり考えて行動していました。公園での遊びも1・2年生が楽しめる遊びを考え、みんな笑顔で遊んでいました。そして、お弁当の時間は、とても静かに、そして和やかに食べることができました。「よく遊んで・よく食べる」ことはとても大切だと改めて感じました。この全校遠足で毎年感じるのは、すすき野の子ども達の優しさです。この行事を通して152名みんなの仲がさらに深まったように思います。そして、一回り大きく成長し、自信をつけてきています。「がんばったね！」の保護者の皆様の声かけが子ども達にはうれしく感じられることと思います。また、遠足での出来事を伝えようと、おうちの方に話をすると思います。ぜひ少しの時間手を休めてゆっくり話を聞いてあげてください。きっとたくさんのお話を聞くことができると思います。

多様な方法で、自己表現をすることで子どもたちの表現力は伸びてきます。表現し、伝える力とともに聞く力は、子どもたちの能力が伸びる両輪となります。素直に聞く力がある子どもたちは、成績が伸びます。聞く力があると、様々なところから知識や情報を日々吸収できるからです。その聞く力を育てる手立てとしておとなが気をつけなければいけないことは、話をするときに子どもに優しく語りかけることです。優しく語りかけると子どもたちは耳を傾けます。しかし常に厳しくしかっていると子どもたちは耳をふさごうとします。もちろんしつけとしてぶれないで厳しくすることは重要ですが、周りのおとなが日々語りかける時、優しく穏やかな口調で話すことが大切ではないでしょうか。

信頼関係がないところに人間関係はうまく育まれません。「聞く耳」を育てると相手の話が丁寧に聞けて、思いやりのある対応ができますので、友達ともうまくやっっていける子にも育つのではないかと思います。

これは、将来子どもたちが社会に出たとき重要な力となるはずで、親子や兄弟、姉妹で日常の出来事を語り合うことでも聞く力は育ちます。ぜひご家庭でも取り組んでみてほしいと思います。

すすき野小学校では11月2日(金)の「はまっ子読書の日」に関連して11月5日(月)から12月3日(月)までを読書月間として、読書活動を通して、本に親しみ、読書の楽しさを知ることにより、豊かな情操を養うことを狙いとして活動を行います。「読み聞かせ」があったり、「朝の10分間読書」があったりと様々な活動をしていき、一人一人の自主的な読書活動につながるようしていきたいです。また、図書委員会の児童も集会でのブックトークや本のクイズ大会など学校全体で読書活動が活発になるように進めています。絵本でも短い詩でも結構です。聞く力を育てることが良い心を育てることにつながると思います。ご家庭でもぜひ取り組んでいただければと思います。

今年も、学援隊の皆様が、王禅寺ふるさと公園までの安全を手分けして見守ってくださいました。いつもいつも有難いことです。皆様からもお礼のお声かけがあるとうれしいです。「学援隊の皆様、ありがとうございました。」

